



福島県のモニタリングの取組Ⅱ

調査・分析部 環境調査課

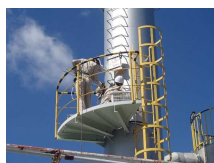
環境調査課では、水や大気などに有害な物質が含まれていないか分析しています。



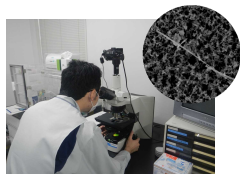
大気汚染

工場や自動車から排出されるガスで大気が汚染されていないか調べています。

県内の測定局では、大気中の汚染物質を24時間連続で監視測定しています。また、硫酸化合物などが原因で起こる酸性雨や、古い建物の解体で飛散することがあるアスベストを調べています。



排ガスの採取



アスベスト繊維の計測

水質汚濁

工場や事業場、最終処分場からの排水に含まれる有害物質の濃度が基準を満たしているか調べています。また、魚類のへい死事故などが起きた場合は、原因特定のため緊急にその水質を調べています。



吸引ろ過



蒸留



埋立廃棄物の溶出試験

猪苗代湖の水質

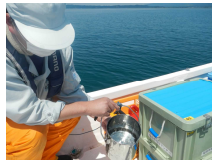
清らかで美しい猪苗代湖は大切な財産であり、美しいままに将来の世代に伝えていくため、主に猪苗代湖や上流河川の水質のイオン成分や大腸菌群数を調べています。



河川水の採水



湖水の採水



化学物質

化学物質は生活を便利にしてくれますが、私たちの身体に有害な物質もあるため、工場からの排水や排ガスに含まれる、ダイオキシン類などの有害な化学物質を調べています。



大気、海水のサンプリング



ダイオキシン類の分析

騒音・振動

静かな生活環境を保つため、空港や工場などから発生する騒音や振動を調べたり、市町村に測定機材を貸し出しています。



騒音計の設置

中間貯蔵施設等の周辺環境

中間貯蔵施設や特定廃棄物埋立処分施設などの稼働、また、施設への輸送による周辺環境の汚染状況や騒音・振動を調べています。



大気の測定